

新成人の企画で記念行事

22年1月10日に行われる成人式の式典終了後、新成人自身が企画立案・運営する記念行事が行われます。「エコジョイ×20」をテーマに、メッセージやクイズなどを映像を交えながら行うもの。合併後の成人式では初の試みで、若者の主体的な動きに期待が寄せられています。

成人式のあり方を考えてほしいと市教育委員会が企画委員を募集。公募などにより各地域から集まった17人の企画委員は11月5日に初会合。12月1日まで5回のワークショップを重ね、▽記念式典、アルバム作成はこ



グループでの検討結果を発表する企画委員

れまでどおり行ってほしいアルバムにはスナップ写真のCDを添付してほしい▽新成人1300人が集まるのは最初で最後なので、何か思い出に残る記念行事を行いたい▽記念行事は企画委員会が行うーなどの結論に達しました。

11月19日行われた3回目の企画会議には、15人が出席。いちのせき市民活動センターの小野寺浩樹さんをファシリテーター（ワークショップの進行促進役）に、2組に分かれ意見を話し合いました。「今まで育った地域に何か恩返しをしたい」「楽しく思い出に残るもの」などとさまざまな意見が出されました。

12月1日の第5回企画会議では、環境問題についての講話を聴き学習。テーマを確認し、記念行事の流れを決めました。

委員の一人、千葉健也さん（19）は「自分たちの将来にとって大切なことなのでテーマにした。同世代の自分たちが真剣に考えていることを記念行事でアピールすることで、参加者の心に伝わってくれるのでは」と意気込みを語ってくれました。

11月19日行われた3回目の企画会議には、15人が出席。いちのせき市民活動センターの小野寺浩樹さんをファシリテーター（ワークショップの進行促進役）に、2組に分かれ意見を話し合いました。「今まで育った地域に何か恩返しをしたい」「楽しく思い出に残るもの」などとさまざまな意見が出されました。

宝くじの助成活用し整備

花泉町婦人消防協力隊(花泉)



花泉町婦人消防協力隊(須藤とし子隊長は軽可搬ポンプ一式と広報用視聴覚器材を整備。須藤隊長は「火災のない地域づくりを目指す」と決意を新たにしています。

大東琢磨太鼓(大東)



大東琢磨太鼓(佐藤クラエ会長は長胴太鼓4台と附締太鼓3台を購入。佐藤会長は「地元

と決意を新たにしています。

磐清水自治協議会(千厩)



磐清水自治協議会(千葉行雄会長は太鼓13台と太鼓台、はんとん25着を購入。磐清水音頭などに太鼓演奏が加わり、華やかな演技が期待されます。

祭りや交流事業などで活用していく」と語りました。

100歳おめでとうございます



阿部みとりさん(萩荘) 11月26日

▶家族に囲まれ誕生日を迎えたとりさん。孫の富二夫さんは働きの宝ばあちゃん」と語りました。



三浦トキさん(真栄) 11月29日

▶親戚、入所者らに祝福され誕生日を迎えたトキさん。何も心配することねえがらよ」が口癖です。



菅野はつさん(千厩) 12月1日

▶長生きの秘けつは「よく働きよく食べる」とはつさん。おれにと得意の餅つき唄を披露しました。

広報モニター意見から新しい企画をスタート

より親しまれる広報づくりを進めようと本年度からスタートした広報モニター制度。5人のモニターから広報いちのせきや市ホームページに関するさまざまな意見、感想、要望などを文書会議などでいただいています。

本号から、モニターの意見を基にした企画「産直へ行くよ」をスタートしました(下記)。

11月20日に行われた第2回広報モニター会議で寄せられた意見の一つ、「食の安全、地産地消や農家の姿を知りたい」「市民に身近な情報を掲載して、手に取ってみたいくなるような広報紙を」などをヒントにしました。

消費者と生産者のふれあいの場所であり、新鮮な農産物や加工品でいっぱい産地直売所。地域活性化や、農産物流通の新たな形態としても注目を浴びています。

広報15日号に、市内にある有人の農産物産地直売施設の情報を、生産者や買い物客の声を交えながら掲載していきます。



季節館

(東山町)

多彩な加工品や食堂
豊富な品揃えが自慢



伝統料理に認定されている「きりぱっと」(手打ちうどん・左写真)をはじめ、はっと、あずきぱっとなどの軽食をお昼の時間帯に提供しています。

●「お客さんの信頼がなにより」

設立以来のメンバー、那須正治さん(70・写真左)はトマトを中心に野菜や花を出荷。「お客さんにわたしの『野菜のファン』と言われる驚いた」とやりがいをかみしめます。野菜苗などを出荷する小野寺千代子さん(72・写真中央)も「お客さんの気持ちになって信用第一をモットーにしています」とにっこり。店長の佐藤栄次さん(31・写真右)は「お年寄りからお孫さんまで楽しめる空間であればと考えています。人気のソフトクリームは季節ごとに種類が変わるので、ぜひ試してください」と紹介します。

散歩がてらよく訪れるという東山町内の60代女性は「めずらしい野菜などがあり楽しい」と知り合いと談笑しながら買い物をしていました。

- ◆運営…協同組合産直センターひがしやま(前田真理事長)東山町長坂字柴宿82-2 ☎47-2919
- ◆営業時間…9:30~18:30(食堂は11:00~14:00)
- ◆定休日…1月1・2日(食堂は毎週火曜)



次回は、「農業の六次産業館 古代米おりざ」(花泉町)を訪ねます。

県道19号一関大東線沿い、柴宿駅の向かい側に位置する季節館。建物の外には切花、苗、テーブルとイスなどが配置され、中に入るとずらりと並んだ新鮮野菜をはじめ、まんじゅうや大福などの菓子、手づくりパン、漬け物、干しうどんなど、加工品の品揃えが目を引きま



●店舗3坪から52坪、組合員47人から92人に

平成6年、東山町農協青年部員を中心とした47人で、柴宿団地入口付近に建てた3坪のプレハブ小屋「産直センターひがしやま」が出発点。その後8年に現在地に建設された「季節館」に移転し、法人化、加工部門の設置、食堂の設置などを経て現在の形になりました。

現在は組合員92人。販売は常勤職員3人とパート3人、加工部門をパート10人が担い、地域の雇用の場にもなっています。

季節館の特徴は、なんといっても独自の加工部門「あじゃら味善」を備えていること。もち、だんご、おこわ、大福から切り干し大根の煮物、煮豆まで、地域の懐かしい味の菓子や惣菜を、組合員から原材料を仕入れて加工しています。

19年には、組合員有志による「手づくり伝承の会」が「季節館食堂」をオープン。岩手県食の匠の